

高等学校と専門学校の先生方が参加した合同研修会を開催しました。

7/29(火)に宇都宮市内のとちぎ青少年センターにて、当連合会と栃木県高等学校長会進路指導委員会（委員長：栃木商業高校宇佐美敬校長）で組織する「高等学校・専修各種学校進路連絡協議会」主催の研修会として、校長先生を始め進路指導の先生方など40名が参加し開催されました。

講師には、当連合会の全国組織である全国専修学校各種学校総連合会（通称：全専各連）の多 忠貴（おおの ただたか）会長（東京都専修学校各種学校協会会長、電子学園理事長）をお迎えし、「実践的な職業教育を担う専門学校が果たすべき役割」と題して、改正学校教育法の内容や中教審の答申資料などの最新の情報を説明され、2040年には大学進学者が大幅に減少する予測には、参加者も驚きを感じていました。また、逆算型キャリア形成という考え方や東京都における高専連携の事例なども紹介され、「学生ファースト」の理念掲げる多先生の言葉に、参加者は大いに感銘を受けていました。

講演後は、初の試みで参加者が5グループに分かれて、高校と専門学校のキャリア教育や職業教育の現状や課題等について情報交換等を行いました。その後、オブザーバーとして参加していただいた県文書学事課や高校教育課の担当職員や、全専各連の原田事務局長、当連合会の石川理事長か

ら話合いの様子から受けた感想などをいただき、最後に、多先生から全体を通してのコメントをいただきました。

アンケートでもグループ別の話合いの時間が少なく、「もっと話を続けたかった」との声が多く寄せられたことは、新たな高専連携のきっかけづくりのためにも、今後も同様な機会を設ける必要性を感じました。



開会挨拶をする当連合会の石川理事長(左)と、県校長会進路指導委員会委員長の宇佐美校長(右)



多(おおの)先生(左)の基調講演を熱心に聞き入る参加者の皆さん(下)



参加者は、多先生の基調講演後、5グループに分かれて
意見交換を行いました



グループ別にオブザーバーとして参加していただいた
県や全専各連の皆さんから話合いで感じたことをお話していただきました



県文書学事課 桑原主査



県高校教育課 藤澤指導主事



全専各総連 原田事務局長



最後に、多（おおの）先生から研修会全体を通じてコメントをいただきました